

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	2.2	7.1
② 銀座店	1.6	11.0
③ 浅草店	10.5	0.6

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
銀座本店	17.7	-1.9	6.9	2.0	4.2	5.2	1.9	-1.5	-1.4	4.9	2.0	2.2
松屋銀座	19.7	-1.6	7.4	2.0	4.4	6.0	2.4	-1.2	-1.2	5.7	2.1	1.6
松屋浅草	-2.7	-5.6	0.7	1.3	2.7	-4.0	-4.3	-5.9	-5.7	-4.8	0.8	10.5

3. 店舗別商況

銀座店	5月の銀座店は、前年に対して祝日・振替休日の2日増という営業条件の中、月後半の真夏日を記録する気温の上昇等により、婦人部門でサングラス・帽子等の婦人雑貨が好調に推移したことに加え、一部の国産アパレルに鈍さが見られるも、国内外のデザイナーによる高価格帯の婦人服は、引き続き、前年の売上を上回り堅調に推移いたしました。免税売上高につきましては、化粧品等の消耗品の売上が前年に対して二桁に迫る伸びを示すも、ラグジュアリーブランドを軸とした一般品がやや鈍く、全体の売上高は前年を下回りました。一方、免税売上高を除く国内のお客様の消費動向は、引き続き堅調に推移(前年比+3.3%)し、加えて大型催事や各種来店促進策が奏功し、入店客数も前年を大幅に上回り(前年に対して二桁増)、その結果、銀座店の売上高は3ヵ月連続で前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、主力の食品部門において和洋菓子が好調に推移、また、外商部門の大口受注も加勢し、店全体の売上高は2ヶ月連続で前年を上回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-4.7	-4.7
婦人服・洋品	-4.3	-4.5
子供服・洋品	2.2	2.2
呉服寝具他	78.0	9.6
衣料品計	-0.6	-3.7
身廻り品	-0.9	-0.9
雑貨	6.7	7.4
家具	28.8	28.7
家電	44.3	48.1
家庭用品	32.9	33.0
家庭用品計	30.6	30.7
食料品	0.5	2.0
食堂・喫茶	3.4	3.4
サービス、その他	13.6	14.0
合計	2.2	1.6

※「2019年6月上報告」は、7/1(月)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639